



ふくち基弘

県政だよりvol.76

INDEX

- 広島県ではどのようなニュースが起きているの？
- インターンシップ活動報告

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先 : ふくち基弘事務所
 広島県広島市西区己斐上2-36-7
 電話/FAX 082-271-5369

広島県ではどのようなニュース が起きているの？

現在、国内ではいろんなニュースが飛び交っています。コロナや安倍総理の辞任発表など、毎日が目まぐるしく変わっています。それは広島県という括りの中でも同じです。今、広島県議会ではどのような話し合いが行われ、広島県はどのように変わろうとしているのか。現役大学生であるインターン生の目線からお伝えします。

①「黒い雨」訴訟

広島県民なら「黒い雨」のことはよく知っていると思います。原子爆弾投下後に振った、すすや放射能を含んだ大粒の雨のことです。放射能を含んでいるということは、この雨を浴びて後遺症に苦しんだ人もいたということです。しかし、あれから70年以上たっても「被爆者」と認められず、被爆者健康手帳を取得できない人々がいました。

国は黒い雨の降雨地域を「大雨地域」「小雨地域」に分けました。被爆者健康手帳を取得できないのはこのうちの「小雨地域」の人々です。「黒い雨」訴訟を起こしたのは、当時この「小雨地域」にいた84人の被爆者です。

20年7月の訴訟で上記の84人には被爆者健康手帳が交付されることが決まりました。しかし、「黒い雨」降雨地域が拡大し、基準そのものが変わらないことには根本は変わりません。よって広島県は8月に控訴を行いました。

②被服支廠の保存

広島陸軍被服支廠は、戦時中に兵員の軍服や軍靴を作るために使用されていた建物です。爆心地から離れているにもかかわらず鉄製の窓がひしゃげていたり、原爆の悲惨さを物語る貴重な史料といえます。しかし現在、この建物を残すべきか様々な意見が出ています。

というのも、この建物を残すには莫大な予算がかかるからです。周りは住宅地のため、現状のまま残しておくのは危険という意見もあります。しかし安全のための耐震工事をするにはどうしても予算が必要となるのです。広島県は3棟を所持しているのですが、そのうち1棟のみを保存すべきという意見もあります。筆者はインターンでよく議員の控室にお邪魔させていただきましたが、毎日多くの議論が交わされていました。皆さんはどのように考えますか？

③コロナ対策

現在日本全体で問題となっているコロナについてですが、もちろん広島でも様々な協議がなされています。コロナの影響はいろんな箇所に出ており、感染拡大を防止するだけでなくアフターコロナを見据えた社会づくりのための話し合いが現在行われています。

さまざまな委員会などを傍聴させていただいて気になったのは「ひろしまモール」というものです。コロナで買い物にも行きにくい中、この「ひろしまモール」というサイトでは広島の特産品を通販で購入することができます。広島は特産品が特に多い県ですから、この機会に地域の味を楽しんでみるのも一つの手ではないでしょうか。

広島県議会ではこの「ひろしまモール」の認知度をどのように向上させるのか、という話し合いもなされています。気になった方はぜひ手に持つスマホで調べてみてください。

インターンシップ活動報告

8月～9月の約2か月の間、私たちはインターンシップとして福知議員の下で活動させていただきました。コロナ禍でできる活動が制限されている中で、多くの経験をさせていただきました。議員という仕事は私たちが思っている以上に知らないことが多くあるのだと知りました。今までどこか他人事のように政治も身近に感じられるようになり、自分の中の意識の変化を感じました。

未来国会に参加

「未来国会」とは、私たちが政府となり30年後の日本の政策を考え、プレゼンする大会です。私たちはチームくすのきとして参加しました。提案した政策は「VR授業とオンラインテスト」「大学での実践的授業」の二つです。学んだことを活かすことまでを大学での学習にするという目的の政策でした。

本番までには様々な苦勞がありました。三人で集まることがそもそも難しかったり、意見がなかなかあわなかったり…しかし本番では三人なりに納得した形の発表ができました。皆さんもぜひ「30年後、自分はどのような日本に住んでいるのか」を考えてみてください。

活動内容

- 平和記念式典参列
- 取材見学
- 後援会事務所訪問
- 委員会の傍聴
- 旧被服支廠の見学
- 労働組合の集合
- 駅での「県政だより」配布
- ポスターの張替え
- 「県政だより」作成

(予定)

- 知事面談
- 街頭演説 など



インターン生から一言

私は、このインターンに参加するまでは政治に興味がありませんでした。しかし、議員さんと約2ヶ月活動をして仕事に対する姿勢、私達県民との関わり方を見ていくうちに政治に興味を持つことが出来ました。とても充実した2ヶ月間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました！

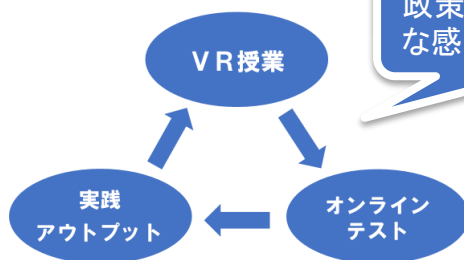
比治山大学2年 山崎 葵

私は、議員の方々が実際に社会で実現されることについて真剣に議論されている姿を見て、「社会人としての責任」を感じることが出来ました。このインターンのおかげで、私も将来、社会に貢献できるような責任ある社会人になりたいと思うようになりました。ありがとうございました。

東洋大学2年 高橋紀圭



構造



政策の構想はこのように感じました！

編集後記

インターンシップ期間は毎日忙しく、途中で「やめたいな…」と思ったことも正直ありました。しかし、大学やバイトでは味わえない体験や新たな出会いがたくさんあり、刺激的な毎日だったこともまた確かです。私個人としては3つほどインターンでの目標があったのですが、どれも達成することができたと思います。政治にかかわるだけでなく、自分の将来について見つめなおすこともできました。インターンの説明を受ける際に「このインターンでの報酬はお金ではなく経験だよ」と言われましたがまったくその通りでした。

また、コロナ禍で従来通りにいかない中、私たちがいろんな体験をできるよう尽力してくださった福知議員やスタッフの方々には感謝しかありません。様々な人に支えられた貴重な2か月でした。

安田女子大学1年 結松悠里